

(株)セプトサピエ

本社住所	東京都西東京市芝久保町 2-8-19				
代表者	代表取締役 小林素秋	設立年月	2013年4月12日	資本金	1,000万円
経営理念	1.顧客のニーズを的確に把握し、要求事項を最大限満足しうる、高技術・高品質な製品提供に努める。 2.職員の技術力を常に向上させ、最先端の技術に着目して当社の製品群に反映させることを最優先に考え、真のプロフェッショナル集団であり続けるため、日々研鑽に勤める。				
業務分野	培養細胞等の病理学的検査の実施・医薬品・化学品・食品及び食品素材の研究開発受託・受託分析・製造および販売				
連絡先	septsapie@septsapie.co.jp	HPアドレス	http://septsapie.co.jp/		

【事業内容のご紹介】

1.実験動物（ラット・マウス等）の病理学検査

弊社は医薬品、医療機器を始め、食品、化学品等の薬効・薬理試験の病理学検査の専門企業です。弊社は、特殊な症例として、各種培養細胞の病理検査やダイオウイカ（国立科学博物館、東京大学）の病理検査や肺魚（日本医科大学）の肺の病理検査など、多くの形態学検査のご依頼に応えられる検査に対応しております。

2.硬組織病理学的検査

当社の連結対象子会社としてスタートした、硬組織病理学検査専門会社「合同会社ハードパソロジー」（代表 加藤久嗣 平成26年11月1日に当社と合併）は、研磨標本作製と薄切標本作製の2種の製品を保有している。研磨標本は、日本国内で数社が受託しているが、当社は最終的に手仕上げによる研磨を行う事から極めて薄い標本（100 μm前後）で納品している。競合他社では厚さ 200 μm以上での標本であり、薄く作製すればするほどその標本から得られる情報は多くなるため、その違いは歴然としています。この硬組織薄切標本作製は、使用する樹脂の選択と検体の前処理技術により最終的な標本に大きな差が出るが、技術的ノウハウ面で当社と競合する企業はありません。今後は海外の受託先との競争となります。

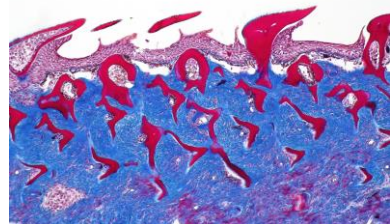
3.ヒト材料の研究用病理検査

当社の売上の約10%弱を占めるヒト材料を用いた実験病理検査は、主に医療機器分野の材料とヒト癌細胞等を実験動物に移植した検査です。（倫理委員会の設置が望ましい） 今後、この領域の受託の伸びが期待されるが、競合他社に比べ、当社は病理学検査の知識と豊富な経験と硬組織病理学検査等の特殊設備・能力を十分に有しております。

4.プラスチック標本作製受託

当該外注市場は数億円規模と推定します。今後数年間に市場を寡占若しくは独占しなければ他社の参入が想定されるのに対して、技術力のみでは拡販が困難と思われる、共同販売先の選定も必要であろうと考えます。主な想定顧客は、医療機関を始め、博物館、水族館、各種の研究機関等です。

5.その他の受託



トチザメ皮膚 マッソ・トリクロム染色



【会社のPR】

当社の強みは以下の通りです。

1.病理検査の技術レベルが極めて高い。

- ・技術者の平均経験年数：約20年（4名の技術者）：客観的評価でも日本国内最高位。
- ・各種のニーズを的確に判断し、フィードバックする能力がある。
- ・硬組織病理検査では、当社の技術力以上の企業が国内には存在せず、主たる競合先は海外。
- ・各業種のクライアントとの繋がりが強固。

2.充実した社外アドバイザリースタッフ。

【代表者のメッセージ】

日々研鑽に努めます。